

社会・人間科学系 社会・人間科学コース（修士課程）

アドミッション・ポリシー（求める人材像と求める力）

社会・人間科学系では、人文学・社会科学・理工学など知識・専門性の面でのバックグラウンドや、経歴・経験などの面でのバックグラウンドを問わず、次のような多様な人材を求めます。

- ・人文学・社会科学・理工学についての広い知識と人間・社会・科学技術に関わる分野における高い専門性を獲得する意欲
- ・人間と社会と科学技術をつなぐためのコミュニケーション力、多様性の理解、人間性、ブリッジ力の習得への積極性
- ・自ら高度な価値判断基準を形成してビジョンを表明する「価値形成力」の獲得への真摯な取り組み
- ・必要な仕組みを創造的に設計し力強くプロセスを推進する「問題解決力」を身につけることへの貪欲さ
- ・価値形成力、問題解決力と国際的視野を持つリーダーとしてグローバル社会で活躍することへの高いところざし

アドミッション・ポリシー（入学者選抜方針）

社会・人間科学系の専門に関する学力、英語による語学力、適性などについて、面接形式の試問、筆答試験などにより、社会・人間科学系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。

社会・人間科学系 社会・人間科学コース（修士課程）

カリキュラム・ポリシー（教育内容）

本コースでは、「ディグリー・ポリシー（修得する力）」を身につけるために、次のような内容の学修を行う。

A) 領域固有知識

人文学・社会科学・理工学についての広い知識，政治・法律・行政・社会，教育・福祉・健康，文化・芸術，科学技術社会，認知・数理・情報などの分野における高い専門性を修得。講究科目群（必修，専門科目），共通プロジェクト対話発信科目群（選択必修，研究関連科目），分析統合科目群（選択必修，専門科目），各分野科目群（選択，専門科目），および，教養科目群の科目による学修。

B) 汎用的技能

批判的な分析統合能力，互惠的な関係構築能力，多分野多文化間の対話発信能力を修得。講究科目群（必修，専門科目），共通プロジェクト対話発信科目群（選択必修，研究関連科目），関係構築科目群（選択必修，研究関連科目），分析統合科目群（選択必修，専門科目），各分野科目群（選択，専門科目），および，教養科目群の科目による学修。

C) メタ認知

多様な知識構造，価値観，世界観の理解。共通プロジェクト対話発信科目群（選択必修，研究関連科目），関係構築科目群（選択必修，研究関連科目），分析統合科目群（選択必修，専門科目），および，教養科目群の科目による学修。

D) 人間性

高い倫理観，感受性，柔軟性，当事者性，社会性，責任感，積極性の獲得。共通プロジェクト対話発信科目群（選択必修，研究関連科目），関係構築科目群（選択必修，研究関連科目），および，教養科目群の科目による学修。

E) ブリッジ能力

洞察能力，省察能力，翻訳能力の学修。講究科目群（必修，専門科目），共通プロジェクト対話発信科目群（選択必修，研究関連科目），関係構築科目群（選択必修，研究関連科目），分析統合科目群（選択必修，専門科目），および，教養科目群の科目による学修。

F) 価値形成力，問題解決力

自ら高度な価値判断基準を形成してビジョンを表明する「価値形成力」と必要な仕組みを創造的に設計し力強くプロセスを推進する「問題解決力」を修得。講究科目群（必修，専門科目），共通プロジェクト対話発信科目群（選択必修，研究関連科目），関係構築科目群（選択必修，研究関連科目），分析統合科目群（選択必修，専門科目），各分野科目群（選択，専門科目）の科目による学修。

社会・人間科学系 社会・人間科学コース（修士課程）

ディグリー・ポリシー（修得する力）

社会・人間科学コースでは，次のような力を修得することができる。

- ・人文学・社会科学・理工学についての広い知識
- ・人間・社会・科学技術に関わる分野における高い専門性
- ・批判的な分析統合能力・互恵的な関係構築能力・多分野多文化間の対話発信力
- ・多様な知識構造，価値観，世界観の理解と国際的視野の獲得
- ・高い倫理観，感受性，柔軟性，責任感，積極性
- ・洞察能力，省察能力，翻訳能力
- ・自ら高度な価値判断基準を形成してビジョンを表明する価値形成力
- ・必要な仕組みを創造的に設計し力強くプロセスを推進する問題解決力